

会議名

令和6年度 第2回 釧路市社会教育施設等運営審議会

開催日時及び場所

令和6年11月21日（木）10時～11時

釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

主な議題

- 1 審議事項
令和5年度釧路市図書館施設の指定管理者業務の
外部評価について

結果

- 1 釧路市図書館施設指定管理者業務の外部評価の結果、適正であると評価された。

発言要旨

- 1 審議事項について

委員：開館5周年を迎える年だったということで、様々な事業が実施されているが、利用者からの声や反応等、印象的なエピソードがあればお聞きしたい。

事務局等：開館5周年を契機に開始した2事業について。小中学生、高校生を対象にしたビブリオバトルの事業で優勝した本は、図書館職員が紹介する本よりも同年代の子たちが手に取ることが多い。また、ビブリオバトルのおかげで本を読むようになったという方もいる。

商店街に来るきっかけづくりや北大通にある店舗紹介として開始した街なか店舗コラボ企画についても大変好評であり、1講演につき50名程にご参加いただいている。これまで図書館を利用したことがない客層が来館するきっかけにもなっている。

委員：学校ブックフェスティバルの実施校について。希望があった学校で実施しているのか、図書館が実施校を指定しているのか。

事務局等：希望があった学校で実施している。校長会等を通して実施校募集の通知を行い、希望があった学校で実施するという流れで行っている令和5年度は5校で、令和6年度は実施予定も含め7校での実施となっている。

委員：運営の手伝いをしたことがあるが、子どもたちの食いつき

も素晴らしいため、今後も継続いただきたい。

委員：研修や事業を行った結果、どうだったのかという部分も説明していただきたい。

事務局等：研修について。コロナ禍はリモートでの参加も多かったが、専門性が高い研修会等は会場となる他の図書館へ赴き参加している。参加人数が限られてしまうため、研修後は研修内容を全体へフィードバックしている。フィードバックは情報共有の場でもあり、発表する機会が少ない図書館職員の発表の機会にもなっている。

事業について。釧路文学館では、中央館や地区館とも連携し、旧図書館時代の貸出カードや看板等の展示を行った。旧図書館時代にもご利用いただいていた利用者からは懐かしいとの声も聞かれ、展示を行って良かったと感じた。

委員：貸出人数と利用者数について。館ごとに特色があると思うが、中央館の利用者数は貸出人数の2～3倍だが、他の図書館はほぼ同数である。勉強などの本の貸し出しを伴わない利用が含まれていると思うが、どう考えているか。

事務局等：地区館は本や雑誌を借りることがメインの館なので、人数に差異が生じていない。中央館はイベントの参加者や多目的ホール等の貸館の利用者も含まれているため大きな差異が生じている。勉強のために来館した方へ本の貸出を促すのは難しいが、街なか店舗コラボ企画等の催しの際には関連する図書を並べて紹介し、イベント来館者を本の貸し出しへ繋げる努力をしている状況。

委員：図書館の利用者カードは釧路管内居住者にも発行していて、本を借りることができるのも市内の人だけではないと思う。釧路管内のまちに対して、どのような働きかけを行っているのか。

事務局等：毎月釧路管内の教育委員会あてに図書館だよりや事業のポスターを送付させていただき、図書館のPRを行っている。また、北大通はホテルが多く、旅行者も図書館を訪れることがあるので、ホテルにも図書館だよりを設置させていただき、道内外の方にも来館してもらえよう周知を図っている。